

# 飛躍的な生産性向上を目指したスマート農業への挑戦!

農業の現場では、担い手の減少・高齢化の進行などにより、労働力不足や技術の継承が問題となっています。ここでは、農業の現場において、省力化による負担軽減・規模拡大・品質向上を目指す「スマート農業」導入の取組を紹介します。

## スマート農業って?

ロボット技術や情報通信技術などを活用して、省力化や高品質生産を実現する新たな農業です。

## スマート農業で何が変わるの?

### 少ない労力で大規模生産を実現!

自動で走る無人トラクタなどのロボット技術で、作業を省力化します。



無人で畑を耕すトラクタ



生育状況を管理するタブレット

### 農畜産物の持つ能力を最大限に発揮!

蓄積されたデータに基づいて農畜産物に最適な環境をつくり出し、生産性・品質の向上を実現します。

### 誰もが取り組める農業へ!

- ・農作業の補助機材などで、重労働の負担を軽減します。
- ・ベテラン農家の経験や熟練技をデータ化し、若者たちに引き継ぎます。



重労働を補助する機材

問い合わせ先 県庁経営技術課 ☎099(286)3155

8/31  
【金】

## かごしまスマート農業シンポジウムを開催しました



県立農業大学校において、スマート農業に関する最先端の情報や技術などを一堂に集めたシンポジウムを、鹿児島で初めて開催しました。

県内各地から約300人の参加があり、導入事例の講演や関連機器の展示などを通して、スマート農業を体感する1日となりました。

## スマート農業に取り組む生産者の声



さつま町トマト生産者  
きつしょうあん さとし  
吉祥庵 聡さん

ビニールハウスでトマトを栽培しています。生育に必要な光や温度、肥料の量などを最適な状態に制御できるシステムを導入したことで、収穫量が増え、管理作業も楽になりました。

# 東京オリ・パラに向けた県産食材供給への挑戦!

2020東京オリンピック・パラリンピックの選手村などで提供される食事に県産食材を供給することにより、安心・安全な「かごしまの食」を世界にPRし、販路拡大を図ります。

## 安心・安全な食材の確保に向けた取組

県では、全国に先駆けて、農業生産の工程を管理する手法(GAP)を取り入れ、平成16年度に、「かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)」を創設し、認証取得の拡大に取り組んでいます。GAPなどの認証取得は、東京オリ・パラの食材調達の要件となっています。

### かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)って?

安心・安全の基準に沿った、生産者の取組を認証する制度です。

認証を受けて生産された農林水産物には、認証マークが表示できます。

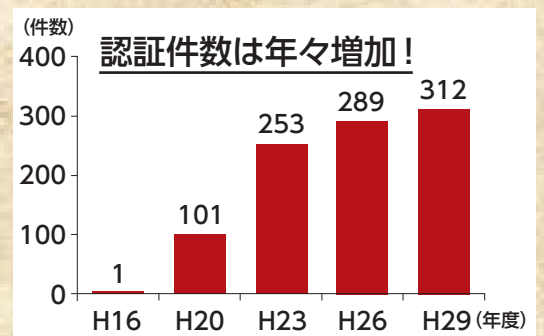
K-GAP=Kagoshima(鹿児島) Good(よい) Agricultural(農業の) Practice(やり方)



K-GAPマーク



認証マークが表示された商品



K-GAP認証件数の推移

## PR・セールス活動の展開

東京オリ・パラの選手村に食事を提供する事業者などにPR・セールス活動を展開しています。

また、本県生産物の生産・流通・販売事業者などを東京オリ・パラのサポート会員として募集しています。



ホストタウンでの海外選手へのPR活動(鹿屋市)

## 食材供給のほかにこんな取組も行っています

### 選手村の施設に「かごしま材」を提供

選手村の施設にCLT(直交集成板)※を提供し、品質の高いかごしま材をPRします。

東京オリ・パラ終了後は、本県に返却され、県内の施設でベンチなどとして再利用される予定です。

※木の繊維の方向が直角に交わるように板材を重ねて接着した大判のパネル。軽くて強度や断熱性に優れる。



施設の内観イメージ図

問い合わせ先 県庁農政課☎099(286)3093 県庁食の安全推進課☎099(286)2888 県庁かごしま材振興課☎099(286)3366